

(堺市中学校)

中教研図書館部会の活動について

堺市中学校教育研究会
図書館部会

1、研究テーマについて

研究テーマ

- ・できることから始める学校図書館の利用指導
- ・学習情報センターとしての学校図書館の利用

「生徒にとっての学校図書館が魅力的なものであるためにはどうすればよいのか。」

「学校図書館を学習情報センターとしてどのように機能させるのか。」を1年間の研究テーマとして考えていきました。

2、活動内容について

図書館部会の活動には大きな二つの柱があります。

ひとつは、毎年7月に実施される「堺市中学校連合読書会」

もう一つは、「読書感想文コンクール」です。この二つの活動を中心に、年間4回（6月・7月・9月・1月）の部会を設定しています。

今年度は以下のような内容で部会を行いました。

○6月部会

研究テーマ・年間計画の設定

運営組織の編成

「第59回連合読書会」のテキスト決定

○7月部会

「第59回連合読書会」打ち合わせ

○9月部会

「読書感想文コンクール」二次審査

○1月部会

令和元年度の反省・次年度への展望

3、「堺市中学校連合読書会」について

連合読書会が成功するためには、「テキスト」選びが重要です。そのため、テキストの選定には毎年悩みます。

選定のポイントは次のようなものです。

- ・中学生にとって、魅力的で興味がわく内容であるか。

- ・異なる視点があり、意見の対立が予想できるか。
- ・限られた時間の中で全体を見通せることができる長さであるか。

今年度のテキスト『繁栄の花』星新一 著は、地球人と宇宙人の交流の中で、地球人の傲慢さと身勝手さ。宇宙人のしたたかさ。そういうものが描かれています。

この57年前に発表された作品を生徒たちが、現在の社会情勢やSNSの問題に発展させ、考えて意見を交換している姿に驚きました。長く読み続けられる作品と言うのは時代を超えて語りかける力があるものだと思います。

読書会終了後は、会場で交わされた意見や感想を掲載した冊子を作り、参加者に配布しています。

4、「堺市読書感想文コンクール」について

読書感想文コンクールは夏休みあけに、各学校での一次審査を行い、その後、二次審査・三次審査を経て、大阪府代表となる作品を選びます。

読書感想文を書くということは、自分の考えを形ににして残すという作業です。「ことば」として書き留めることによって、自分の考えを形にし、その考えをたくさんの人と共有することができます。

各校から出品された作品を読むと、本の世界を味わい、自分の体験と結びつけながら考えを深めている作品が多く見受けられました。

5、最後に

中教研図書館部会は、各中学校での活動が中心ですが、学校以外の多くの方々に活動を支えていただいています。地域の方が図書館ボランティアとして、学校図書館の運営に参加されている学校もあります。

また、堺市図書館の司書の方との交流も継続して行っています。司書の方の専門的な知識をもとにした、「中学生に おすすめの本」は大変参考になります。リサイクル本の提供もしていただき、学級文庫等の充実に役立てています。

今後も読書が生徒たちの知的な活動を支えているという自覚を持って、本と生徒をつなぐ図書館部会の活動を展開していきたいと思います。

(堺市立 中百舌鳥中学校 前田 亮)